

1学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

1学年 第16号

2015.8.20 (木) 発行

今日という日

学年主任 横山 伸一

今朝5:50。いつものように朝ごはんを食べながら日本テレビの「ZIP」を見ていたところ、アナウンサーの柘太一さんが次のような話をされていました。

今日は【蚊の日】です。1897年のこの日、イギリス人の細菌学者ロナルド・ロスが羽斑蚊類の蚊の胃の中からマラリアの原虫を発見しました。蚊は「虫偏に文」と書きますが、蚊がブ〜ン！と飛ぶことからこの字をあてたという説があります。

蚊の日があることも初めて知りましたが、その漢字の由来がユニークなので印象に残りました。柘さんは時々番組で生物についての興味深い話をされます。また、彼の話し方や表情が常に爽やかで私の私から見ても好印象です。そこで、朝一の仕事として彼のことを調べてみると、

「好きな男性アナウンサーランキング」で三連覇しています。東大の農学部を卒業した後東大の大学院にまで行っています。イケメンな上に頭も良いのか！という感じです(°Д°)でも東大に合格できたのも奇跡だったみたいです。本人も塾の先生も合格は出来ないと思っていたそうです。なぜなら、東大の模擬試験の結果は何度受けても最高でC判定。これ普通だったら諦めている判定ですよ。でもここで諦めない柘太一アナは、すごい戦略を立てました。東大って合格になる全教科の合計最低点って6割弱なんだそうです。だから得意な教科で点を稼いで、苦手な教科は最初から捨てる！という潔い戦略を立てて勉強したそうです。苦手な数学は1問解ければOKというくらい捨てていたいみたいです。なんでそこまでして東大に入りたかったのか。それは「好きな子が東大受けるって言っていたから」だそうです。理由はただの男の子ですね。結局女の子の方が落ちてしまったそうですが…。

東京大学卒というと幼少の頃からエリート教育を受けているという印象がありますが、そうではなく、受験の動機やダメ元でチャレンジしたことなど、庶民的なところもイイですね。この夏休み、大学のオープンキャンパスに参加して「大学で学びたい・研究したい！」とい

う気持ちが高まっていることでしょう。また、東京大学を見学し「日本一を目指す！」という志を固めた仲間もいて嬉しい限りです。柘さんの話に戻ります。我々はアナウンサーと言うとどうしても「文系」のイメージがあるのですが、彼はどのようにして理系からアナウンサーを目指すことになったのでしょうか。先のHP(芸能情報教えます)の続きに、

アナウンサーになった理由は

大学院にはすごい人たちがたくさんいて、自分は研究者としては一流になれないと悟った。理系の知識は持っているので、難しい科学などの話をわかりやすく伝える懸け橋にはなれるのではないかとのこと。生物が大好きで、アナゴやアサリを研究していたそうですが上には上がいるのですね。今となってみればアナウンサーになっていて正解かもしれませんね！

9月は理数科・普通科文理の最終選択です。ですが、柘さんの例からも理系で無いとできない(文系で無いとできない)という職業の境目など無いことがわかります。ですから、人生の選択において最も大切なのは「自ら決断すること」と「その決断に責任を持つこと」だと思います。まだ悩んでいる人は、担任や学年団の先生、部活動の顧問に相談して下さい。ちなみに、私は「理系だけど日本史&生物選択」だったので、通信士になろうと思ったのに工学部電気科は受験できず、理学部数学科へ進学して数学教師になりました。人生は何が正解で何が不正解かはわかりません。逆に「こうすればこうなる」というマニュアルもありません。そう考えると、将来への不安もあるでしょうが「自分にどんな未来が待っているのだろう」と夢想することは楽しいことだと思います。でも、ただ待つのではなく、未来に向けての準備は日々しっかりしておきたいものです。高校生にとって、その準備の1つが「学び」だと思います。[終]

ここまで朝書いたのですが、始業式で校長先生がプレゼンされた「我妻栄先生」について触れないわけにはいきません。我が校の大先輩であり、世界的な民法学者である我妻栄先生のごことは、ここ数カ月間は私も忘れていました。いつか皆さんにお伝えしようと考えていたので今日は大変いい日でした。我妻先生についてのプロフィールは校長先生からあった通りです。いい機会ですので、先生の講演集である「母校愛の熱弁」を読んでみましょう。皆さんには4月に配付していますが、じっくり読んだ人は少ないでしょう。また、熟読した人は「次の我妻栄は俺だ！」と熱い思いになっていることでしょう。私も再度読んでみます。なお、公演を収録したCDがあることも初めて知りました。本校図書館で貸出しているそうなので、生徒諸君のみならず(この通信を読んで頂いた保護者の方なども)ぜひ拝聴下さい。「日本の10進法は欧米の算術に勝る」という話は、ユーモアを交えて興味深い内容でした。必聴ですね！

また、校長先生は今後の大学入試にも触れておられました。みなさんの入試である「平成30年度入試」から「推薦入試・AO入試による入学者を30%以上にする」という話です。現在国公立大学の推薦・AO入試が全入学者の15%であることから「確実に2倍以上になる」ということです。東京大学では今年の3年生（平成28年度入試）から推薦入試を導入します。

「各高校男女各1名まで」ではありますが非常に大きな変更です。おそらく、現米興の3年生も男女各1名出願することでしょう。なお、希望者が複数いた場合には米興内で選抜することになります。その際、最も大きく評価するのは「校内の評定平均」です。1学期は「評点」だけでしたが、学年末は各教科で「1～5段階の評定」が明記されます。その評定の和を科目数で割った数字が評定平均です。つまり、数学Iの5と家庭科の5は等しく評価されるということです。今後、東京大学に限らず、東北大学のAO入試や、各大学の医学部医学科の推薦定員も間違いなく増加します。1学期に反省の多いアナタも2学期から頑張ってみるべきです。2年後に大きなチャンスが訪れるかもしれません。しかしながら、推薦やAO入試で合否を分けるのは「高校時代にどのような活動をしたか」という具体的な事実です。例えば、東北大学で実施している「科学者の卵（応募した事実も評価されるはずです）」や「科学の甲子園への出場・入賞」、「数学オリンピックへの出場・入賞」、「英語検定など各種検定の合格」、さらに「海外への語学研修」、「ボランティア活動」などです。また、部活動でも全国大会への出場・入賞などは素晴らしい成果です。もちろん、みなさんの「FS」も評価されますし、理数科が2年生で行う「課題研究」などは、他高校生が絶対に体験できない素晴らしいアドバンテージです。加えて、欠席が無い(少ない)ことは必須ですので、少々のことでは休まずに登校して下さい。以上のように、米興生に大きな追風が吹いています。まず、日々の学びをしっかりと修めましょう。そして、将来の大学入試を見据え、様々な機会に積極的に参加して活動していきましょう。それは、アナタ自身を大きく成長させるためではありますが、大きく評価して頂ける大学があるかもしれません。何事にも精一杯頑張る人になりましょう。大きく羽ばたけ2学期！

本日の学年集会で以下のことを再度確認しています。保護者の方もご承知置き下さい。

<米興1学年ケイタイ・スマホの掟>

- 1 夜21:00以降は電源を切る。
- 2 部活動の連絡等、必要な連絡は21:00以前に行う。
- 3 友人との語らい時間を大切にす。同席の場合に使用は慎む。
- 4 家族との語らいを大切にす。家族団らんの場での使用は慎む。

月	日	曜	時限	行事予定
	24	月	5	興譲祭準備5校時授業
	25	火	5	
8月	26	水	5	SC 9:00~13:00
	27	木	5□	↓
	28	金		興譲祭 合唱コンクール
	29	土		↓
	30	日		京大実戦(希)
	31	月		振休(8/29)
	1	火		学校安全の日 交通安全街頭指導
	2	水	4	SSH講演会【講師：人工衛星まいど1号開発者 青木豊彦氏】
	3	木	L	各種委員会
	4	金		
	5	土		
	6	日		
	7	月		
9月	8	火		
	9	水	6	短45 壮行式
	10	木	L	議案書審議
	11	金		
	12	土		地区高校新人
	13	日		↓
	14	月		振休(9/19)
	15	火		
	16	水	月	代議員会 一斉退校日 SC 13:30~17:30
	17	木	L	
	18	金		職員会議
	19	土	水3	創立記念日・式典 FS④
	20	日		3年BSマーク模試 2年難関大・医進セミナー
	21	月		↓ 敬老の日
	22	火		休日
	23	水		秋分の日
	24	木	L	自治会長・応援団長・興譲祭実行委員長選挙
	25	金		
	26	土		
	27	日		
	28	月		
	29	火		
	30	水		中間考査(^10/2)
				↓